

試合番号 : 771		試合会場 : 酒田市国体記念体育館				観客数 : 655	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:19		試合時間 : 02:19		主審 : 鈴木 美帆	
副審 : 斎藤 隆介		通算 9勝 10敗 ポイント : 24		24 第1セット 26		柏エンゼルクロス 通算 7勝 11敗 ポイント : 22	
監督コメント	試合巧者の相手に対し、スタートから中々リズムに乗ることができなかつたが、第2セット、柳沢のブロックや榎本のレシーブで徐々に自チームのペースを取り戻していった。しかし、第3セットも相手の巧みな攻撃を捕まえきれず、このセットを落としてしまったが、第4、5セットは全員で勝ち取ることが出来た。皆さんの応援とチームが一体となったこの試合。そして、ホームゲームで勝利できたこと、皆様に感謝しています。明日もご声援、よろしくお願い致します。		3	25 第2セット 23		2	一進一退の攻防が続く展開で、あと1点がとれなかったところ、攻め切ることが出来なかったところがチームの甘さであり、今日の敗因です。残り試合が少なくなってきましたが一戦一戦全力で頑張りたいと思います。本日もたくさんの声援ありがとうございました。
	20 第3セット 25						
	25 第4セット 22						
	15 第5セット 10						
	要約レポート						
現在1ポイント差で順位を争うプレステージ・インターナショナルアランマーレと柏エンゼルクロスとの直接対決は、お互いの意地と意地とがぶつかり合う好ゲームとなった。第1セット、序盤は柏・鶴田のスパイクで連続ポイント奪取を遂げる。中盤、アランマーレは柳沢のブロックで逆転に成功するが、終盤、柏が石川のスパイク等で再度、逆転し、このセットを奪った。第2セット、序盤から両チームともブロックでポイント奪取を争う展開。中盤まで競り合いが続いたが、終盤、アランマーレが榎本、宮本のスパイクで突き放し、このセットを奪った。第3セットも、序盤からお互いに競り合う展開。そのまま迎えた終盤、柏が石川の連続ポイントで勢いに乗り、このセットをものにす。第4セット、序盤から主導権を握った柏は、最終リードを保ったまま試合を進める。後のないアランマーレは、終盤に江川、藤原のスパイクで逆転に成功。そのまま柏の追撃を振り切り、このセットを奪取した。第5セット、アランマーレは、スタートで藤原のサーブが決まり勢いに乗る。その後も勢い衰えず、柳沢のブロックや江川のスパイクで得点を奪い、最後は伊藤が押し込み、熱戦に終止符を打った。							
試合番号 : 772		試合会場 : 酒田市国体記念体育館				観客数 : 290	
開始時間 : 16:00		終了時間 : 18:23		試合時間 : 02:23		主審 : 津島 由香	
副審 : 石垣 周		通算 11勝 8敗 ポイント : 32		25 第1セット 21		ルートインホテルズプリリアントアリーズ 通算 10勝 8敗 ポイント : 27	
監督コメント	本日もたくさんの応援ありがとうございました。ルートインさんの粘りと攻撃に苦しんでいましたが、『繋ぐ』、チーム一丸となって勝ち切ることが出来ました。残りの試合も、チーム一丸となって全力で戦います。引き続き応援よろしくお願い致します。		3	31 第2セット 33		2	第1、3セットを奪われながらの追い上げも一歩及ばず敗戦となりました。残るは3試合。ルートインらしいバレーで、最後まで諦めず戦いたいと思います。皆様のご声援、誠にありがとうございました。
	25 第3セット 22						
	20 第4セット 25						
	15 第5セット 10						
	要約レポート						
チャレンジマッチ出場をかけた是非とも勝利したいJAぎふリオレーナとルートインホテルズプリリアントアリーズの対戦。第1セット、序盤から両チームともに譲らない展開となる。中盤、JAぎふが9連続ポイントでリードする。ルートインも猛追するが、最後はJAぎふが宮井にボールを集め、このセットを逃げ切った。第2セットも、第1セット同様、序盤から競り合いとなり、このまま終盤を迎える。30点を越えるセットになったが、最後はルートインの岸村のスパイクで、このセットを取り返した。第3セットも、第2セット同様、序盤から競り合った展開に、1点を争う展開が続いたこのセットだが、終盤、JAぎふの浜田のスパイクやブロックで奪取した。第4セット、序盤はJAぎふのペース。しかし、中盤からルートインの佐々木、高橋がブロックで連続ポイントを上上げ逆転に成功。そのまま押し切り、最終セットに繋げた。勝負を決する最終第5セットも、一進一退の攻防が続く。JAぎふは8-7の勝負所で、リリーフサーバーで投入された岩永がサービスエースを決めると、一気に流れを呼び込む。このまま押し切ったJAぎふが、この大事な一戦をものにした。							
試合番号 : 773		試合会場 : ヤマト市民体育館前橋 (前橋市民体育館)				観客数 : 450	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:28		試合時間 : 01:28		主審 : 饗庭 和恵	
副審 : 藤生 拓也		通算 7勝 11敗 ポイント : 20		25 第1セット 20		プレス浜松 通算 5勝 14敗 ポイント : 18	
監督コメント	本日もご声援ありがとうございました。今日の試合では全員がボールを落とさないという強い意識がでて、全員で繋ぐバレーをできた結果が勝利に繋がりました。明日も試合がありますので引き続き応援よろしくお願い致します。		3	28 第2セット 26		0	今シーズン残り2戦、明日はホームの群馬銀行グリーンウイングス戦です、きりかえて気持ちをひきしめて戦います。皆さんの応援、ありがとうございました。
	25 第3セット 20						
	第4セット						
	第5セット						
	要約レポート						
現在7位の大野石油広島オイラーズと8位のプレス浜松との一戦。両チームとも残り3試合の戦いで少しでも上位進出し、次シーズンの飛躍を目指すためにも負けられない試合。第1セット中盤までお互いにサイドアウトを繰り返す一進一退の攻防の中、大野石油がアウトサイドヒッター中田の力強いスパイクやブロックで抜け出した。終盤浜松もミドルブロッカー山本のブロックなどで追いつく。しかし、終盤中田の攻撃が牙を大野石油が先取した。第2セットも試合は終始大野石油ペースで進む。浜松は必死の守りとアウトサイドからの攻撃で追いつくがリデュースとなるも、最後は大野石油・斉藤の攻撃がブロックアウトを誘いセットを連取した。第3セット、後のなくなった浜松は序盤から果敢に攻めるが、サーブレシーブからの攻撃を着実に決めた大野石油がリードを広げた。浜松も水上、山本の攻撃などで追いつくも、やや自力に勝った大野石油が斉藤の力強い攻撃などで再びリードを広げ、25-20でセットをとり、ストレート勝ちをおさめた。							
試合番号 : 774		試合会場 : ヤマト市民体育館前橋 (前橋市民体育館)				観客数 : 755	
開始時間 : 15:25		終了時間 : 17:35		試合時間 : 02:10		主審 : 勝又 怜子	
副審 : 高橋 美子		通算 16勝 3敗 ポイント : 49		23 第1セット 25		GSS東京サンビームズ 通算 9勝 9敗 ポイント : 30	
監督コメント	今シーズン最後のホームゲームとなった一戦、会場に来てくれるお客様のために試合をしようと準備をしてきました。ゲーム開始早々、相手の堅い守りに阻まれ持ち味である攻撃が思うように決まらず、相手に2セット先行される展開になってしまいました。そういう苦しい中でもコートに立った選手が役割を果たし、第3セット以降、特にサーブとブロックが機能し始めたあたりから一気に流れを掴むことが出来ました。非常に苦しい一戦でしたが全員で力を合わせて戦ったと思います。残り少ない今シーズン、明日もホームで試合ができるので、応援を力に準備していいと思います。皆さんの応援ありがとうございました。		3	23 第2セット 25		2	2セット先取した後の攻めが単調になり群馬銀行のリズムでゲームを作られてしまいました。最終セットは気持ちをもう一度奮い立たせて選手は力いっぱい戦ってくれたと思うので、選手の頑張りを称えたいと思います。最後にリーグ優勝を果たした群馬銀行にはリーグを代表して是非とも入れ替え戦に勝利し昇格して欲しいと思います。明日の試合は今日の反省を生かして何としても勝利を取りたいと思います。ご声援下さいました皆様、大変ありがとうございました。
	25 第3セット 11						
	25 第4セット 14						
	15 第5セット 10						
	要約レポート						
上位に踏みとどまりたいGSS東京サンビームズとホームゲームで勝利を飾りたい群馬銀行グリーンウイングスとの一戦。第1セット、序盤から一進一退の攻防が続く。群馬銀行は愛宕のブロックやスパイクでリードを広げようとするが、GSS東京は大原がサーブで崩し、吉里、賀谷のスパイクでリードを許さない。最後は、GSS東京の張や吉里がスパイクを次々に決め、セットを取った。第2セット、群馬銀行が愛宕、新井の連続ブロックポイントで勢いに乗り、その後も安福のスパイクでリードを広げていく。GSS東京は色摩の攻撃を起点にしりとり追い上げ、終盤は張のスパイクやブロックの大活躍で逆転し、セットを連取した。第3セット、群馬銀行が鈴木、伊藤のスパイクで流れを引き寄せ、一気にリードを広げる。終盤まで群馬銀行が堅い守りでGSS東京の攻撃を寄せ付けず、最後は坂本のスパイクでセットを取った。第4セット、群馬銀行・鈴木、安福の速い攻撃で得点を重ねていく。GSS東京は賀谷、鬼塚のスパイクで追い上げようとするが、群馬銀行の粘り強いレシーブに阻まれ、勢いに乗った群馬銀行は一気に得点を重ねてセットを取った。第5セット、序盤から両チームとも点の取り合いで手に汗握る展開となる。群馬銀行は栗田、坂本を投入し、攻撃のリズムを作っていく。中盤から斉藤の攻撃が次々に決まり、その勢いそのまま群馬銀行が大接戦の末、勝利を収めた。							